城北学園同窓会 常任幹事会通信

No. 13
平成19年11月30日発行
城北学園事務局
〒174-0074
東京都練馬区東新町2-28-1
Tel 03-3956-3157～9
発行/城北学園同窓会
編集/同窓会広報部会

杉崎完夫会長から鐵野善資氏（7回生）体制へ

定時総会と第7回ホームカミングデイは成功裏に終了

今回の総会の大きなテーマは8項目に渡り、先の同窓会報で告知された会長交代人事をはじめ、学校との協調性をたかめる大町山荘改修資金助成並びに募金活動、更には近藤薫明奨学基金の復活、そして活性化へと導く規約の大改正といった重大事項が盛り込まれた。

本年度の城北学園同窓会の定時総会は、6月2日(土)本校大講堂において150余名が参集、盛大に執り行なわれた。

2007年総会風景上と下は新会長挨拶

はじめに、佐藤武久幹事長(9回)の司会で杉崎完夫会長、帖佐正雄学校長、加藤健治学園長、下島弘PTA会長の順で挨拶が行なわれ、先の4月28日の常任幹事会で採択された議案が順次説明され全員一致で議決された。

①平成18年度事業および活動報告
②平成18年度決算報告
③監査報告

上記3議案については一括審議がなされた。①については吉田正美副会長(8回)から配布資料に基づき報告され、②については瀬戸川睦人副会長(13回)より同じく配布資料に基づき報告された(裏面参照)。次いで、森田健監事(4回)より収支報告書が相違ない旨の会計監査報告が行なわれた。

④平成19年度事業および活動計画

配布資料に基づき吉田副会長から説明があった。なお、大町山荘改修資金助成に関連して学園から設計を委託されている宮崎均氏(25回)からパネル等を用いての改修の内容説明があった。また、杉崎会長から改修資金として同窓会から500万円を提供することの同意が求められ全員の賛同を得た。

⑤近藤薫明奨学基金

杉崎会長から説明。学校の理事会で承認され、評議委員会で決定、9月1日より実施。

⑥平成19年度予算

瀬戸川副会長より説明。大町山荘改修助成金500万円を差し引いて、繰越金は4千667万785円となる。

⑦同窓会規約改正

全員の賛同を得て、杉崎会長より発効宣言がなされた。

質疑応答のあと

⑧会長人事について、遠藤隆司副会長(7回)より鐵野善資（てつのよしすけ）氏への会長推薦の辞があって、全員の拍手によって承認され、杉崎会長の勇退と共に会長職のバトンが鐵野氏へ手渡された。

新会長の第一声は、本会で議決されたことの重大性が述べられ、偏に本会の活性化が力説された。

このあと、地下大食堂で懇親の宴がもたれた。

（遠藤隆司　記）

鐵野善資新会長の挨拶

常任幹事会の皆様方には新しい規約のもとで、同窓会の一層の発展にご協力、ご賛助くださいますようお願いいたします。

先日の臨時常任幹事会でお話申し上げたことも含めて、今後に備えていることを簡略にご報告してご挨拶といたします。

先ずは、理事会メンバーの増員、役割分担の確認、重要な分担に必要な増員。新規約の会議費等の細則による手当支給の枠組みを明確化。役職に対する手当は一切なし。支給は実働に対して。毎年一回の同期会開催の補助として人数分の往復ハガキ代及び宛名シールの支給。今年度から実施しますので、同窓会本部にお問い合わせください。

私の任期満了までに次期会長を公選制で選ぶべく、細則づくりに着手。現在、先の臨時常任幹事会の議事録と会長公選制の細則のたたき台をお届けする予定で作業を進めています。

臨時常任幹事会の開催

平成19年10月27日(土)午後、学園内に於いて、臨時常任幹事会が開かれた。出席者総数32名。新会長の鐵野氏が常任幹事会の活性化を目的として要請した初の臨時会議であった。

会議は理事会運営に関わる質疑が多く提起され、新会長の狙いとした活性化の為のアイディアや方策等は煮詰まらず、今後に十分検討されることが約束された。

32名の出席者は、鐵野善資新会長他3名の副会長、監事、幹事長、副幹事長2名、新任副幹事長2名、理事7名、新理事1名と、左記の常任幹事の方々である。（佐藤武久　記）

出席常任幹事

杉崎完夫(旧2)　渡邊幸雄(7回)　藤巻英雄(12回)
海老利喜雄(旧2)　中山晏(7回)　小宮仁(30回)
小野澤知治(4回)　木村文雄(7回)　飯野重樹(32回)
矢田英明(4回)　恩田正春(7回)　岡地優司(38回)
道正太郎(5回)　高野昭夫(8回)　渋谷隆之(53回)
岩崎定良(6回)　関根忠雄(9回)　吉田陽一(55回)

同窓会役員有志による 大町山荘訪問記

今年の6月の同窓会総会で、大町山荘改修助成が決まった。予てより、同窓会役員による山荘訪問の話があり、それは8月20日（月）～21日（火）の両日、石川(雅)理事のプランにより鐵野新会長他役員有志の9名が参加、実行された。

20日午前8時過ぎ残暑の中、新宿西口よりマイクロバスで一路大町へ向けてスタート、昼には大町温泉郷へ到着、一息ついたあと、大町山荘へと向かった。北アルプス連峰岳を背に松林の中、城北大町山荘の三角形の玄関が迎えてくれた。すぐ管理人夫妻の案内で、役員一同山荘内部を見学、確認を終えた。

玄関を中心にコの字型に宿泊室があり、室内は3段ベットがかなりの高さであった。今は、山小屋、ユースホステルでも2段までで、安全と使い勝手からも、他では見られないものだ。和室（畳）、食堂、学習室、風呂場、トイレ、乾燥室（冬期用）、廊下等々良く管理されているが、壁、照明、雨漏り跡から老朽化は否めないものと感じた。

翌日には工事予定とかで、今回は宿泊はできず、近くの穂高山荘にて投宿した。

途中、酒蔵（寄る。そこは、石川(雅)理事の大学の麗しき後輩、即ち、大雪渓酒造㈱のお嬢様が我々一行を出迎えてくれ、酒造の見学と美酒を十分試飲させてもらい大満足だった。翌日は安曇野、松本城などを見学、無事6時には新宿に帰着。

以上、同窓会役員有志による大町山荘見学訪問は、改修前の山荘を確認できたこと、並びに同窓会の今後の運営への協力を確かなものとした。

（写真／石川雅弥　文／石川敏康）

杉崎前会長ご夫妻を慰労する会

池袋で役員16名が参集賑やかに懇談

7月7日夕、池袋の関西料理店「鷲」（いらか）にて前会長杉崎さんご夫妻をお迎えし慰労会が開かれました。新会長鐵野さんをはじめ、理事16名が集い和気あいあいと大いに盛り上がりました。発足当時の冬、裸電球で暖房もない小さな部屋に集まり膝を交えた事等も懐かしそうでした。

杉崎さんは平成12年4月に会長就任以来7年間に渡って活躍され、長い間休眠状態の同窓会を起動し組織の基礎を築かれました。最も力を注いだホームカミングデイは総会日に合わせて7回開催され、対象卒業生は一巡しました。これが契機となって各学年の同期会結成の動きが始まったと聞きます。

在任中、特に難題であった近藤基金の始動、大町山荘改修資金助成、規約改正等の実現には抜群の指導力を発揮され、私達に太いレールを施設してくださいました。城北魂と共に同窓会は益々発展して参りましょう。陰で支えてくださった奥様共々深く感謝申し上げます。

（瀬戸川睦人　記）

◀笑顔の杉崎ご夫妻の好ショット、下の写真とも石川(雅)撮影

平成19年度第7回ホームカミングデイ参加者一覧表

旧1回生
下平孟
松田義光
重松開三郎
八田耕作
阿部龍二
宇田川宏
樫村豊
水野篤行

旧2回生
杉崎完夫
渡辺秀彦
山下敬
金子力
渡辺史一

旧3回生
二川澄秀
稲垣靖男
坂本清
坂牧裕治
正木昭太郎

旧4回生
今井一夫

新制2回生
小林忠雄
小林養成
藤島武徳
辻和雄

新制3回生
土屋三郎
土尾英夫
高田瑞穂
加福光一

新制4回生
横田實
堀井和衷
矢田英明
森田健
横山真一
大野昌彦
三品陽一

新制5回生
橋本茂男
尾形喜章
新庄剛蔵
飯島勝
遠藤隆司

新制6回生
芝崎正夫

新制7回生
鐵野善賢
桜井日出夫
木村文雄
恩田正春
高瀬和璋
鴨志田敏也
中山晏
野田良輝
八木常夫
石橋武典
綿貫實
清水亘
長谷川幸雄
石川敏康
鳥居義道
五十嵐章雄
小林等
渡辺幸雄
佐藤道郎

新制8回生
上野行三
久松邦彦
松村良一
和田茂
吉田正美

新制9回生
関根忠夫
佐藤武久

新制10回生
谷本秀男

新制12回生
奥出隆之
原健之
竹内捷郎
宝田惣一

新制13回生
牧野恒之
奥田正道
大野静男
瀬戸川睦人

新制14回生
若井康裕
夏目暢之

新制15回生
富田治夫
鈴木明

新制16回生
横山真一

新制19回生
中山貞明
大月正男

新制21回生
真船秀郎
岸政男

新制23回生
柴田清

新制25回生
藤澤健司
鳥海良昌
大森啓吉
宮崎均
山上松則

新制26回生
永井邦佳
植木泰弘

新制28回生
山口祐二
釣幹雄
本橋茂

新制31回生
金澤朗

新制34回生
町田彰男
九鬼秀延

新制43回生
村上徹
亘理健太郎
縣輝彦
山田智紀
山田有喜
岩井孝貴
冷水元
大沢英生
大鷲拓也
小林英夫
南部洋平

新制44回生
井上慎介
文平忠

新制45回生
三瓶篤樹
鈴木貞

新制46回生
齋藤大
辰己晃一

新制47回生
傍嶋宏行
和田悠

新制48回生
斉藤至輝

新制49回生
菊池博
川合峰紘

恩師・来賓
加藤健治
帖佐正雄
笹川俊明
高野靖敏
下島弘
渡部岑生
手塚廣志
加藤功
嶋田英俊
平山久次
根岸清

その他受付業務に水球部のOB6名、また事務・用務員7名の方々からもご助力を頂きました。ここに伏して感謝申し上げます。参加者総数151名。

▲鐵野新会長を囲んで7回生の面々

▲OB教職員の方々

▲佐藤幹事長(左)と合唱部員の方々

▲帖佐学校長(左)と笹川教頭(右)

秋の体育祭・文化祭が盛大に挙行される

快晴に恵まれた9月8日に体育祭が催されました。来校者も多く、盛況な体育祭になりました。生徒は赤組・白組・緑組の三色に分かれて、各種競技が行われましたが、今年は白組が見事に勝利の栄冠を勝ち取りました。昔懐かしい騎馬戦や綱引き等も行われ大変好評でした。

体育祭に続いて、9月22日・23日に恒例の文化祭が開催されました。各クラブやクラスの展示を中心に、模擬店・喫茶店・音楽会や演劇等、多彩な内容で約8,400名の来校者を大いに楽しませてくれました。(渡辺修　記)

▲文化祭 俯瞰

▲体育祭 騎馬戦

▲文化祭 売店

▲体育祭 クラブ対抗徒競走

文化祭 人混み▲

体育祭 父兄綱引き▶

お知らせ

本年をもってホームカミングデイが一巡した。今後は、同期会並びにクラブOB会への協力も惜しみなく行い、活性化へ弾みをつけたい。来年の新機軸をご期待乞う。

(同窓会理事一同)

平成18年度　同窓会決算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位：円)

項　目	18年度予算	18年度決算	差　異
前期繰越金	96,327,365	96,327,365	0
収入			
平成17年度卒業者会費	3,610,000	3,790,000	180,000
平成17年度名簿代	1,624,500	1,705,500	81,000
雑収入	20,000	65,650	45,650
収入合計	5,254,500	5,561,150	306,650
支出			
旅費・交通費	450,000	486,700	△36,700
交際・会議費	600,000	338,249	261,751
総会費	1,000,000	994,863	5,137
会報費	2,800,000	2,223,450	576,550
通信費	150,000	154,350	△4,350
物品購入費	100,000	101,713	△1,713
雑費	54,500	18,175	36,325
予備費	100,000	35,750	64,250
支出合計	5,254,500	4,353,250	901,250
当期剰余金	0	1,207,900	1,207,900
次期繰越金	96,327,365	97,535,265	1,207,900

繰越金明細　三菱東京UFJ銀行　吉祥寺支店　普通預金　96,273,781円
三井住友銀行　常盤台支店　普通預金　1,261,484円
合　計　97,535,265円

上記の収支報告書は監査の結果相違ないものと認めます。
平成19年4月7日
監事　森田　健　印
監事　正木昭太郎　印

平成19年度　同窓会予算書（案）

平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位：円)

項　目	18年度決算	項　目	19年度予算
前期繰越金	96,327,365	前期繰越金	97,535,265
収入			
卒業生終身会費	3,790,000	卒業生終身会費	3,590,000
卒業生名簿代	1,705,500	卒業生名簿代	1,615,500
雑収入	65,650	雑収入	20,000
収入合計①	5,561,150		5,225,500
支出			
旅費/交通費	486,700	旅費・交通費	630,000
交際・会議費	338,249	交際・会議費	350,000
総会費	994,863	総会費	1,000,000
会報費	2,223,450	会報費	3,700,000
通信費	154,350	通信費	160,000
物品購入費	101,713	物品購入費	100,000
雑費	18,175	雑費	50,000
予備費	35,750	予備費	100,000
		（特別会計予算）	50,000,000
支出合計②	4,353,250		56,000,000
①－②	1,207,900		△50,864,500
次期繰越金	97,535,265		46,670,765

平成19年4月28日　常任幹事会
平成19年6月2日　総　会